

地方経済情報 Weekly No.482

「日本遺産 人吉球磨」の魅力！

1. 日本遺産「相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」

文化庁は2015年より、地域の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、多様な文化財群を総合的に活用する取組みを支援しています。熊本県内では現在3件*が認定されていますが、中でも「人吉球磨」は初年度である2015年に全国17地域とともに認定され、10市町村にまたがる59の有形・無形文化財の活用が進められてきました。

人吉球磨地域を約700年にわたって統治した相良氏が、民衆に浸透していた信仰や生活様式を尊重しながら外来の文化を積極的に取り入れたことで、地域にはそれらが融合した独自の文化と歴史が育まれました。司馬遼太郎は紀行文集『街道をゆく』で、人吉を「もっとも豊かな隠れ里」と記しています。それらのストーリーを踏まえ「相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」として日本遺産に認定されました。さらに2023年に青井阿蘇神社に隣接する「国宝記念館」が開館したり、昨年は球磨焼酎を含む「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたりと、人吉球磨地域の暮らしに根付く歴史や文化への評価はますます高まっています。

2. 日本遺産を人吉球磨観光のゲートウェイに

人吉市は今年度、独立行政法人日本芸術文化振興会の事業に採択され、近年のインバウンド増加や旅行スタイルの変化などに対応しながら、旅行者がより楽しめるよう人吉球磨地域全体で日本遺産のストーリーを磨き上げる取組みを進めています。新たなテーマ型旅行商品の開発や、国宝記念館の体験充実など様々な企画が進行中です。中でも長年親しまれてきた「道の駅人吉」(人吉クラフトパーク石野公園)内の「焼酎館」の展示の刷新は要チェックです。現在改装中で、8月8日(球磨焼酎の日!)にプレオープン予定です。予約不要で誰でも無料で見学できます。県内にお住まいの皆様にとっても学びの多い体験が用意されていますので、ぜひお立ち寄りください。当研究所は人吉温泉観光協会と連携し、アンケート調査等による効果測定業務で参画しております。これからも自治体や事業者の皆様と協働しながら、持続可能な地域社会へ向けた包括的な取組みを進めてまいります。

(写真) 展示をリニューアルする焼酎館
(人吉クラフトパーク石野公園公式HPより)



※県内の日本遺産(認定年)：

1	相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～(2015年)
2	米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稻』物語」～(2017年)
3	八代を創造(たがや)した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～(2020年)

参考：(いずれも2025年7月16日閲覧)

人吉市役所「日本遺産 人吉球磨」<https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/shisei/kokyoshisetsu/hitoyoshijyo/2411163>

日本遺産 人吉球磨 <https://hitoyoshi-kuma-heritage.jp/>

日本遺産ポータルサイト <https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>

担当：研究員 古田 千智